

《ご利用開始までの流れ》

- Step 1 …施設見学とご説明
- Step 2 …ご利用申し込み・ご利用契約
- Step 3 …サービス担当者会議
- Step 4 …ご利用開始前の準備

- *介護保険証・負担割合証・健康保険証のご用意をお願い致します。
- *主治医の先生に「診療情報提供書」の発行をお願いして下さい。

《送迎のご案内》

○送迎エリア：中野区

中野1-6丁目、中央1-5丁目、松が丘1-2丁目、
新井1-5丁目、上高田1-5丁目、野方1-6丁目、
大和町1-4丁目、本町2-6丁目、沼袋1-4丁目、
東中野1-4丁目

*隣接エリアはご相談下さい。

*車椅子用リフト車での送迎も可能です。



《ご昼食のご案内》

○中野共立病院内の厨房で調理した、温かいお食事を提供致します。

○おかゆ、刻み食、ペースト食の提供も可能です。

○ご昼食1食のエネルギーは400
500kcal、塩分は2～3g

○昼食代+おやつ代として、
1日650円の保険外負担を



《アクセスマップ》

中野共立診療所1F 通所リハビリ室



中野駅より徒歩5分

ご見学・ご利用のご相談・お問い合わせは

TEL 03-3386-9105

fax 03-3386-9120

担当：関根・山崎

営業時間…8時45分～16時45分

休業日…日曜・祝日・年末年始(12/29～1/3)



社会医療法人社団 健友会
中野共立病院附属 中野共立診療所
通所リハビリテーション

〒164-0001

中野区中野5-45-4

Eメールアドレス

tuusyo-riha @ kenyu-kai.or.jp

社会医療法人社団 健友会
中野共立病院附属

中野共立診療所



通所リハビリテーション
〈介護保険施設〉



地域のみなさまの
かかりつけリハビリ施設
開設25年の実績

《通所リハビリってなに?》

通所リハビリとは、「要介護」又は「要支援」の認定を受けて在宅で生活している方に施設に通って頂き、利用者様個々の状態に応じたりハビリに取り組み頂くことにより、心身機能の向上を図ることを目的とする「介護保険施設」です。



《中野共立診療所通所リハビリの特徴》

- 身体機能とニーズにより、「一日プログラム」または「短時間プログラム」をお選び頂けます。
- 集団リハビリ、自主トレーニング、個別リハビリを組み合わせたプログラムを提供致します。
- 個別リハビリは、「理学療法」・「作業療法」・「言語療法」から選択、又は組み合わせて実施致します。
- 必要に応じて、理学療法士による家庭訪問指導があります。
- 営業日には看護師が通所リハビリ室内に必ず勤務し、病院・診療所が併設されているので、急な体調不良にも迅速に対応致します。
- 常勤介護職員は、全員介護福祉士です。



《一日プログラムの流れ》

サービス提供時間：6時間以上7時間未満(定員50名)

09:00~10:30 送迎車でお迎え

血圧測定など看護師の健康チェック

午前の部

○アクティビティ

脳トレ・ぬり絵・手芸・囲碁・麻雀等ご興味に応じたテーブルワークを通じて、上肢の巧緻性・精神活動の活性を促すリハビリを行います。

○嚥下体操

食べ物や飲み物を飲み込みやすくする体操です。

○12:15~13:30 ご昼食・休憩

午後の部

○体操の時間

3つのグループに分かれて起立体操・転倒予防体操・セラバンド体操・リズム体操を行います。

※グループにより体操の内容が変わります。

○15:00~ お茶休憩

○15:30~ 送迎車でお送り

《土曜日短時間プログラムの流れ》

サービス提供時間：2時間以上3時間未満(定員25名)

09:00~10:00 送迎車でお迎え

血圧測定など看護師の健康チェック

○10:00~11:50

ストレッチ体操・セラバンド体操・転倒予防体操

○12:00~ 送迎車でお送り

※個別リハビリ及び自主トレーニングは上記プログラムを一時中断して行います。

○短時間プログラムは平日も対応可能ですが、送迎を行っていないため、ご自身の来所をお願いしています。

(平日短時間は1時間以上2時間未満)

詳細につきましては、担当までお気軽にお問い合わせください。



《国家資格を持ったリハビリの専門家》

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による相談・指導。

- 自宅で出来る自主トレーニングの指導。
- 福祉用具・下肢装具・上肢用自助具の選定の支援、使い方の指導、アフターフォロー。
- 嚥下障害の方への食事指導
- 医療機関や訪問看護・訪問リハビリ事業者と連携し、切れ目のない環状リハビリを提供致します。

《療法士による個別リハビリ》

理学療法・作業療法・言語療法

作業療法では、上肢機能、日常生活活動、高次脳機能など、応用的活動能力の向上を目指します。



理学療法では、

柔軟性、筋力、バランス、姿勢、歩行など、基本的身体機能の向上を目指します。呼吸リハビリや整形外科術後のリハビリも可能です。



言語療法では、

言語機能及び摂食・嚥下機能の向上を目指します。



◎病院から退院直後の方など、集中的なりハビリの継続が必要な方にも、安心してご利用頂けます。